

長畝ふるさと通信



【2020年3月号】

■ いつまで続くのか…

新型コロナウイルスのパンデミック(世界的な大流行)はいつまで続くのでしょうか。東京オリンピックも2021年夏頃まで延期になりました。日本がオリンピックに出場できなかった歴史は過去に2度あったそうで…。1度は1948年のロンドン五輪で、第2次世界大戦で敗戦国となったドイツと日本は参加が許可されなかったそうです。もう1度はボクの記憶にもある1980年のモスクワ五輪ボイコットです。政治とスポーツは切り離すべきと大きな問題になったことを思い出します。

世界中が大混乱となり、経済的にも「恐慌」が心配される中、日本政府はリーマンショック時を上回る規模の経済対策を実施するとか…でもそれって税金ですよ…無利子でお金を貸してくれても元金は返さなくてはいけないんですよ…全くのやられ損じゃないですか…

これからいつどうなるかもわからない。それでも人間の腹は減る。だから大事なものは「食糧の自給」なんです。中国がこけたらマスクも部品も食糧も不足するような国ではダメでしょ。国の在り方が根本的に問われているのです。今こそ日本農業が活躍する時代です。国民みんなで国産を支援しましょう。田んぼの脇にはフキノトウやからし菜など食糧がいっぱいありますぞ。



■ 田んぼにはたくさんの鳥たちが

畦ぬりを終えた田んぼには水を張って、トラクターで耕耘をします。アオサギやトビやカラスはトラクターのすぐ近くまで来てエサを食べますが、まだ小心者のDNAを持つトキは一向に近付こうとしません。でも、これくらいの距離がお互いにとっていいのかも。「濃厚接触」は避けられる距離感って大事。

田植えに向かって粛々と作業をしています。

農作業に1年延期はありません。パンデミックだろうがロックダウンだろうが腹は減る。みなさんのお米は必ず確保しますから、パニックらないでください。